

各関係機関の長 殿  
関係各位

東北大学大学院薬学研究科長  
根東 義則  
(公印省略)

東北大学大学院薬学研究科 助教あるいは助手の公募（放射線健康管理に資する線量評価に関する分野）について（依頼）

本研究科では、下記の要領により候補者を公募いたしますので、関係方面への周知方をお願い申し上げます。

#### 記

1. 職名：助教あるいは助手（1名）：放射線健康管理に資する線量評価に関する分野を担当

2. 領域及び選考方針：

本プロジェクトでは、東京電力福島第一原子力発電所事故後、周辺地域の住民の被ばく線量の把握を行っております。避難指示区域の解除及び特定復興再生拠点区域の認定にともない、帰還・居住する住民の増加が今後予想されるなか、より適切に被ばく線量推定を行えるよう現状に即した情報が必要とされています。特に、住民がもっとも長い時間を過ごす住家内外の放射線は住民の被ばく線量に大きな影響を与えるため、本プロジェクトでは住家内外の現地調査並びに解析・評価を目的としています。

今回、公募する助教あるいは助手は、本プロジェクトの主任研究者のもと旧・現避難指示区域等での現地調査にあたるとともに研究推進の役割を担っていただきます。

3. 業務内容

環境省委託事業「放射線の健康影響に係る研究調査事業」において放射線健康管理に資する線量評価に関する以下の業務を行う。

- (1) 旧・現避難指示区域等の住家内外における放射線分布、ガンマ線スペクトル解析・評価に関する研究
- (2) 住家調査における関係者（協力住民、地方自治体等）への説明等、対応に関連する業務

被ばく線量は放射線の健康影響を考えるうえで最も基本となる情報です。本研究の推進に積極的に従事可能な若手研究者を募集します。

[勤務地住所等]

宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3

[募集人員（職名・採用人数等）]

助教あるいは助手・1名

[着任時期]

選考終了後のなるべく早い時期

4. 本分野には現在、准教授1名が在籍しています。

5. 提出書類

- (1) 履歴書：氏名（ふりがな）、生年月日、所属機関及び職、所属機関の所在地（電話、FAX、電子メールアドレス）、自宅住所（電話、FAX）、学歴、学位、資格、職歴、賞罰を順に記載し、写真（パスポートサイズ）を添付する。
- (2) 研究業績目録：応募者が主研究者のものに○を付し、原著論文、総説・解説、著書、招待講演・依頼講演、特許出願、学会等の受賞、新聞報道・プレスリリースを書式に従い作成する。
- (3) 主要原著論文5編及び代表的な総説論文数編の別刷り又はコピー
- (4) 科学研究費補助金等の競争的研究費(代表者として受けたその他の研究助成も含める)の取得状況(代表、分担の別を明記)を書式に従い作成する。
- (5) これまでの研究概要(2000字程度)
- (6) 原発事故後の環境・放射線防護・保健物理等に関連する活動概要(1000字程度)
- (7) 学会・公的委員会等の活動状況
- (8) 着任後の研究に対する抱負(2000字程度)
- (9) 学会及び社会活動、教育教材、製品開発、その他選考の参考になる事項を書式に従い作成する。
- (10) 応募者に関して問合わせのできる方2名の氏名・連絡先

※提出書類を印刷したものとすべての書類の電子データを USB メモリあるいは CDROM に記録して提出してください。データはできるだけワードまたはエクセルとし、ファイル名は、ご自身の氏名\_\_〇〇〇（ファイルの中身を示す単語）としてください。

[提出先]

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号

東北大学大学院薬学研究科長 宛

(なお、提出書類は封筒に「教員選考応募書類」と朱書し、簡易書留にて郵送願います。)

[参照 HP]

<http://www.pharm.tohoku.ac.jp/saiyou/index.shtml>

提出書類(2), (4), (9)の書式はこちらからダウンロードください。

[問合せ先]

薬学部・薬学研究科総務係

TEL : 022-795-6801

[その他]

- (1) 選考の過程で、面接及びセミナーをお願いすることがあります。
- (2) 推薦書は受理しません。
- (3) 提出書類は、返却いたしません。
- (4) 選考の過程に関する問合せには応じられません。
- (5) 選考の結果は、選考委員長から書面で各応募者に連絡いたします。
- (6) 着任後、分野名を変更することができます。
- (7) 東北大学は男女共同参画を推進しております。  
(<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo/>)

以上